

1 義務教育等

施策の基本的考え方

- 質の高い幼児教育を推進するため、教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、保護者負担の軽減を図ります。
- 児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるため、基礎的基本的な学習内容の定着、学力の向上、教職員の指導力の向上などを図ります。
- 新しい時代を担う子どもたちが、豊かな感性とたくましい行動力をもち、互いの良さを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身ともに健康な児童・生徒の育成を図るため、甲府の子どもの教育の推進、生きる力の育成、生徒指導の充実、体験的学習の推進、国際理解教育の推進などに取り組みます。
- 児童・生徒の心身の健全な発育のため、健康安全教育の充実と保健管理の徹底、環境衛生の維持・改善及び学校給食の充実等を図ります。
- 児童・生徒の登下校時のみならず、安全で安心な学校生活を送れるよう、家庭・地域・関係機関との連携を密にし、防犯・防災に努めます。
- 児童・生徒が心身共に健全で安心した学校生活を送れるよう、教育施設の耐震化の整備、環境に配慮した施設の整備、学校体育施設の整備、学校給食施設の整備など教育施設の充実に努めます。
- 小・中学校のコンピュータ関連機器の整備に努めるとともに、新学習指導要領*に基づく教材の整備・充実に努めます。
- クラス替えができる学校規模を確保し、児童が、等しく学ぶことができる教育環境の整備・充実に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
義務教育等 01	01 幼児教育の充実	01 幼稚園就園奨励事業
		02 幼児教育振興事業
	02 教育内容の充実（確かな学力）	01 小学校英語活動推進事業
		02 外国人講師による英語指導事業（中）
		03 きめ細かな教育推進事業
		04 教材・情報環境整備事業（小） <small>（再掲）</small>
		05 教材・情報環境整備事業（中） <small>（再掲）</small>
	03 教育内容の充実（豊かな心）	01 新しい時代を担う人づくり基金事業
	04 教育内容の充実（健やかな体）	01 学校給食事業（小）
		02 学校給食事業（中）
		03 冷暖房機整備事業（小） <small>（再掲）</small>
		04 冷暖房機整備事業（中） <small>（再掲）</small>
	05 安全な教育環境の整備	01 学校防犯対策事業
	06 学校施設等の整備	01 冷暖房機整備事業（小）
		02 冷暖房機整備事業（中）
		03 小学校校舎整備拡充事業
		04 中学校校舎整備拡充事業
		05 小学校屋内運動場整備拡充事業
		06 中学校屋内運動場整備拡充事業
	07 教材及び教育環境の整備・充実	01 教材・情報環境整備事業（小）
		02 教材・情報環境整備事業（中）
	08 小学校の適正規模化の推進	01 小学校適正規模化推進事業
		02 きめ細かな教育推進事業 <small>（再掲）</small>

01 幼児教育の充実

■幼稚園就園奨励事業 【事業No.02010101】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5669
			保育係		

事業概要

- 保護者の家庭の所得と園児数に応じて保育料を減免している幼稚園に助成し、保護者の経済的負担を軽減することにより、子育て支援事業の推進と幼児教育の振興を図る。

現況と課題

- 減免額は保護者の所得により決定されるが、園児を取り巻く家族の生活実態が多様化しており、提出書類だけでは確認が困難な世帯が増加しているため、所得状況の確認作業が煩雑化している。

今後の事業展開

- 県内の市でも少子化を反映して制度の充実がみられるが、本市では平成19年度までは、国の定めた補助限度額を適用してきたので、県内では充実しており、市民の期待感も高いので、今後も広報誌等により制度のPRに努め、予算の範囲内で単価設定を行い継続推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H21~23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成23年度	
園児1人当たりの助成率 (%)	25	24	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H21~23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	113,456		110,906	110,906	110,906	332,718	

■幼児教育振興事業 【事業No.02010102】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5669
			保育係		

事業概要

- 各私立幼稚園が実施する教職員研修、預かり保育事業*及び地域活動事業に対して助成を行う。また、私立幼稚園協会の教職員研修についても一部助成を行うことにより、幼児教育の振興と子育て支援の推進を図る。

現況と課題

- 教職員研修事業については、全ての私立幼稚園で実施しているが、預かり保育事業及び地域活動事業については、一部実施していない幼稚園がある。

今後の事業展開

- 幼稚園がもつ子育て支援機能を活用することにより、地域の子育て環境の整備を図ることを目的としているため、預かり保育事業及び地域活動事業に全ての私立幼稚園が取り込むよう要請していく。
- 補助金の申請内容を十分精査し、適正な執行に努めていく。
- 少子化により幼稚園では定員割れが著しく、国でも幼保一元化を唱え平成18年10月には「認定子ども園」が施行となったが、平成20年度までに実施する園はなかった。今後も、国・県及び各幼稚園の動向を見ながら適切な対応を図っていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H21~23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成23年度	
① 職員研修事業実施率							
② 預かり保育事業実施率	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100
③ 地域活動事業実施率 (%)	② 92	② 92	② 100	② 100	② 100	② 100	② 100
	③ 77	③ 77	③ 100	③ 100	③ 100	③ 100	③ 100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H21~23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	9,750		9,420	9,420	9,420	28,260	

02 教育内容の充実（確かな学力）

■小学校英語活動推進事業 【事業No.02010201】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 小学校5・6年生で実施される外国語活動のねらいである「外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、その音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、中・高等学校等における外国語科の学習につながるコミュニケーション能力の素地を養う」ために、ネイティブスピーカー*の活用を図る。また、1～4年生においても、児童が外国語に触れたり外国の生活や文化に慣れ親しむ活動などを行ったりする中で、異なる文化に関心を持たせ国際理解教育の充実を図る。

現況と課題

- 新しく告示された学習指導要領の移行期に入る平成21年度より市内の小学校において年間12時間程度実施される小学校外国語活動に対応するために、外国人英語講師を1名増員し3名体制とした。平成23年度からの年間35時間実施の義務化に対応するために、外国人英語講師を4名体制にする必要がある。4名体制にすることにより、5・6年生の各学級に年間の実施時間の半分程度、1年生から4年生にも年間に数回ネイティブスピーカーを配置することが可能となる。

今後の事業展開

- 小学校英語活動のねらいである外国語を通じた児童のコミュニケーション能力の素地の育成及び小学校における国際理解教育の充実を図るために、外国人英語講師を有効活用していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
英語指導を受ける市立小学生 (人)	平成19年度 9,850	平成20年度 9,661	平成21年度 9,482	平成22年度 9,404	平成23年度 9,354	28,240
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	10,293		13,751	13,751	18,237	

■外国人講師による英語指導事業（中学校） 【事業No.02010202】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた生徒の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

- 教育課程の改善・充実に取り組む必要性のなかで、英語の「発展的な学習」を目指すには、質の高い学力の育成が求められていることから、外国人英語講師の活用が今まで以上に重要となってきた。「聞く」「話す」を中心とした実践的な指導や「基礎」「基本」の着実な定着、発展的な学習への取り組みの充実を図るうえから、外国人英語講師の採用数の増も今後検討していく必要がある。

今後の事業展開

- 実施計画の確実な推進の中で、生徒の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
英語指導を受ける市立中学生 (人)	平成19年度 4,512	平成20年度 4,564	平成21年度 4,648	平成22年度 4,612	平成23年度 4,529	13,789
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	29,406		29,149	29,149	29,149	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■きめ細かな教育推進事業 【事業No.02010203】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			教職員係		

事業概要

●市立学校において、少子化や地域性から児童数の減少により、複式学級編制を余儀なくされた小学校、南部地域における小学校の大規模化、外国籍児童が多く日本語や学習内容の理解が困難な教育環境にある学校などに、児童に対して、きめ細かな指導や適切な教育的配慮の必要性から、臨時的教職員を配置し教育の安定化を図る中で、特色ある学校づくりに努める。

現況と課題

●千代田小学校の複式学級編制解消と山城・大国・大里小学校の大規模校については、継続的に臨時的教職員の配置が必要。また、小規模校及び大規模校等以外の小学校においても児童の授業充実や学習規律、基本的生活習慣等の指導などにおいて、きめ細かな学習指導を効果的に推進するために、特別な人的配置が必要な状況にある学校に臨時的任用する職員の配置が望まれている。

今後の事業展開

●複式学級となる小規模校及び児童数が600名を超える大規模校、外国籍児童が多く日本語や学習内容の理解が困難な教育環境にある学校などに、学校教育の充実を図るため、臨時的に任用する教職員を配置しきめ細かな教育の推進を図る。また、教員の増員配置について、国や県に今後も引き続き要望していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	13,668		16,176	16,176	16,176	

■教材・情報環境整備事業（小学校） 【事業No.02010204←No.02010701】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

■教材・情報環境整備事業（中学校） 【事業No.02010205←No.02010702】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

03 教育内容の充実（豊かな心）

■新しい時代を担う人づくり基金事業 【事業No.02010301】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 姉妹・友好都市との教育交流として、生きた外国語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた生徒の育成のため、中学生、甲府商業高校生を姉妹都市・友好都市へ海外研修派遣している。
- 児童生徒の望ましい考え方や生活態度への奨励として、友達との望ましい人間関係や他の児童生徒の模範となる善行を行った児童生徒に対して「なでしこ賞（撫子賞）」を表彰している。

現況と課題

- 海外研修派遣は、姉妹都市デモン市と友好都市成都市へ派遣している。成都市との交流は5年サイクルにおいて、相互交流を行う協定が交わされている。海外研修派遣は国際情勢の変化により、生徒の身に危険を伴う場合があるので、事業内容を再度検討していく。また、派遣する代表生徒の選出は、各中学校長及び甲府商業高等学校長が行っているが、市立学校の代表として海外研修に対する意欲が高く、この経験を将来的に生かせるであろう生徒の選出が必要である。

今後の事業展開

- たくましい身体と思いやりの心を育み、創造性ゆたかな人づくりに資するための事業の推進を図る。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H21～23)
	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
① 海外研修派遣中学生数								
② 海外研修派遣甲府商業高校生数								
③ なでしこ(撫子)賞受賞 小中学生数及び甲府商業高校生数 (人)	①	20	①	20	①	20	①	60
	②	3	②	2	②	2	②	6
	③	213	③	200	③	200	③	600
事業費 (千円)	当初予算額(千円)				計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度			
	6,324		6,885	6,885	6,885	20,655		

04 教育内容の充実（健やかな体）

■学校給食事業（小学校） 【事業No.02010401】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

事業概要

- 児童に提供する給食内容を充実し、安全な食材の確保とともに、教育活動の一環として、子どもたちの食生活・食教育に対する指導を行い、正しい食事マナー、健康的な食習慣・食生活等を身につけさせる。

現況と課題

- 給食施設の老朽化、正規職員の定年退職に伴う代替調理員の確保、衛生管理に対する指導の徹底などの課題とともに、地場農産物の給食への活用には、品質規格の均一性、品目の数等の課題がある。また、残留農薬の痕跡や産地偽装など食の安全性を脅かす事件が相次ぐ中、給食に使用する食材の安全確認を十分に行うとともに、限られた給食費の範囲内でより良い食材の確保や献立の工夫に努め、安全で安心かつ充実した給食実施が責務となっている。

今後の事業展開

- 決定された運営方針や事業評価検討委員会の意見等を総合的に勘案する中で、第三者委託に向けた条件整備や中学校給食での食中毒を受けての新たな課題を含め、安全性を確保できる委託方法及び調理員の配置状況を踏まえた効率的な学校給食の運営方法の検討を関係部署の担当職員を交えて引き続き行う。また、学校教育の一環としての学校給食の意義を踏まえ、衛生管理の徹底や産地消*の推進をはじめとする学校給食の充実を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
県内農産物を使用した品目 割合(%)	22.0	28	29	30	30	30
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	211,089		233,945	241,904	247,144	

■学校給食事業（中学校） 【事業No.02010402】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

事業概要

- 生徒に提供する給食内容を充実し、安全な食材の確保とともに、教育活動の一環として、子どもたちの食生活・食教育に対する指導を行い、正しい食事マナー、健康的な食習慣・食生活等を身につけさせる。

現況と課題

- 生徒の食に対する嗜好の多様化などにより、食べ残しが課題としてあげられ、栄養バランスに配慮しつつも、生徒が食べやすい献立による給食の提供に努めるとともに、調理業者への衛生管理指導の徹底を図っていく必要がある。また、残留農薬の痕跡や産地偽装など食の安全性を脅かす事件が相次ぐ中、給食に使用する食材の安全確認を十分に行うとともに限られた給食費の範囲内でより良い食材の確保や献立の工夫に努め、安全で安心かつ充実した給食実施が責務となっている。

今後の事業展開

- 給食調理業者への衛生管理指導を徹底するとともに、より安全な給食の実施方法等を検討する中で、現行の民間委託による学校給食を継続実施する。また、学校教育の一環としての学校給食の意義を踏まえ、産地表示や産地消の推進をはじめとする学校給食の充実を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
県内農産物を使用した品目 割合(%)	35.7	37	37	37	37	37
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	171,167		172,974	180,886	180,886	

■冷暖房機整備事業（小学校） 【事業No.02010403←No.02010601】再掲	担当部課係名	教育部	学事課 学事係	ダイヤル	223-7322
■冷暖房機整備事業（中学校） 【事業No.02010404←No.02010602】再掲	担当部課係名	教育部	学事課 学事係	ダイヤル	223-7322

05 安全な教育環境の整備

■学校防犯対策事業 【事業No.02010501】	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課 学事係・学務係	ダイヤル	223-7322
--	--------	-----	----------------------	------	----------

事業概要

- 全国的に学校の教育現場において、悲惨な事件等が起きる現状の中で、事件の未然の防止、及び緊急避難対策等の強化を図る。

現況と課題

- マモルメール*等のシステム導入に加え、人的（地域ボランティア等の協力）な巡視等の強化が必要。また、自主防犯ボランティアとの整合を図り、効率・効果的な組織体制の整備を要する。

今後の事業展開

- 学校施設内への不審者侵入等に対する効果的な防備手法を検討するとともに、マモルメール*や防犯ブザーの有効活用に向けた周知を図る。また、行政、学校と地域社会が一体となって子どもたちの安全な教育環境を守る取り組みを引き続き推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
全小学生に対する防犯ブザーの配布割合(%)	100	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	7,491		7,475	7,475	7,475	22,425

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

06 学校施設等の整備

■冷暖房機整備事業（小学校） 【事業No.02010601】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 市立小学校における児童の健康面及び安全性・経済性等を考慮し、良好な学習環境を構築するため、音楽室、理科室等特別教室に天井扇・FF 暖房機*等を年次的に整備する。

現況と課題

- 地球温暖化等による気温の著しい変化が見られるなど、良好な学習環境の必要性がますます高まっている。

今後の事業展開

- 特別教室等への天井扇設置については、平成 21 年度内に完了する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
小学校の特別教室等への天井扇の設置台数(台)	103	112	26	—	—	26
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	4,240		1,088	—	—	

■冷暖房機整備事業（中学校） 【事業No.02010602】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 市立中学校における生徒の健康面及び安全性・経済性等を考慮し、良好な学習環境を構築するため、音楽室、理科室等特別教室に天井扇・FF 暖房機等を年次的に整備する。

現況と課題

- 地球温暖化等による気温の著しい変化が見られるなど、良好な学習環境の必要性がますます高まっている。

今後の事業展開

- 特別教室等への天井扇設置については、平成 21 年度内に完了する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
中学校の特別教室等への天井扇の設置台数(台)	139	132	97	—	—	97
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	4,992		3,920	—	—	

■小学校校舎整備拡充事業 【事業No.02010603】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤル	237-5862
			建築係		

事業概要

- 学校施設は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、合わせて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 改築校における仮設校舎での学習環境の低下
- 仮設校舎による屋外運動場の利用制限

今後の事業展開

- 小学校校舎の耐震補強及び建替えについては、児童生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
校舎の建替え率(%) (耐震補強工事を含む)	45	75	80	92	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	1,495,177		1,045,137	1,817,499	2,066,183	

■中学校校舎整備拡充事業 【事業No.02010604】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤル	237-5862
			建築係		

事業概要

- 学校施設は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、合わせて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 改築校における仮設校舎での学習環境の低下
- 仮設校舎による屋外運動場の利用制限

今後の事業展開

- 中学校校舎の耐震補強及び建替えについては、児童生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
校舎の建替え率(%) (耐震補強工事を含む)	60	80	80	90	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	75,369		0	454,909	627,307	

■小学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.02010605】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤル	237-5862
			建築係		

事業概要

- 屋内運動場は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、合わせて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 教育活動及び社会開放における、工事期間中の代替施設の確保。
(平成21年度事業を、平成20年度に前倒し実施)

今後の事業展開

- 小学校屋内運動場の耐震補強及び建替えについては、児童生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21~23)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
屋内運動場の建替え率(%) (耐震補強工事を含む)	17	29	53	82	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21~23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	662,301		0	1,199,721	485,423	

■中学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.02010606】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤル	237-5862
			建築係		

事業概要

- 屋内運動場は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、合わせて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 教育活動及び社会開放における、工事期間中の代替施設の確保。

今後の事業展開

- 中学校屋内運動場の耐震補強及び建替えについては、児童生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21~23)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
屋内運動場の建替え率(%) (耐震補強工事を含む)	25	50	50	50	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21~23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	334,355		0	17,653	624,463	

07 教材及び教育環境の整備・充実

■教材・情報環境整備事業（小学校） 【事業No.02010701】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 新学習指導要領*に基づき、授業に必要な教材・教具の整備、充実を図るとともに、コンピュータ機器及び教育用コンテンツの活用等による情報教育環境を整備する。

現況と課題

- 各学校の大型・特殊教材教具（実験用机・調理用机・グランドピアノ等）は老朽化しており、通常の整備費のなかでの更新が困難な状況にあるため、年次的整備が必要である。また、教職員に対する1人1台パソコンについても早急な整備が求められている。

今後の事業展開

- 「新甲府市標準教材」*に基づき、特色ある教育を実践するための教材教具の整備を計画的に行う。
- 情報セキュリティー対策の充実を図る中で、平成21年度に小学校24校のパソコン965台の入れ替えを行うとともに、リースアップ機器を活用した教職員1人1台パソコンの配置整備を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21~23)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
コンピュータ1台を使用できる 児童の割合(各教室別) (%)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	普通 7 PC 100
	普通 7 PC 100					
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21~23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	102,599		88,017	88,017	88,017	

■教材・情報環境整備事業（中学校） 【事業No.02010702】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 新学習指導要領*に基づき、授業に必要な教材・教具の整備、充実を図るとともに、コンピュータ機器及び教育用コンテンツの活用等による情報教育環境を整備する。

現況と課題

- 各学校の大型・特殊教材教具（実験用机・調理用机・グランドピアノ等）は老朽化しており、通常の整備費のなかでの更新が困難な状況にあるため、年次的整備が必要である。また、教職員に対する1人1台パソコンについても早急な整備が求められている。

今後の事業展開

- 「新甲府市標準教材」*に基づき、特色ある教育を実践するための教材教具の整備を計画的に行う。
- 情報セキュリティー対策の充実を図る中で、平成21年度に中学校6校のパソコン210台の入れ替えを行うとともに、リースアップ機器を活用した教職員1人1台パソコンの配置整備を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21~23)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
コンピュータ1台を使用できる 生徒の割合(各教室別) (%)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	普通 7 PC 100
	普通 7 PC 100					
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21~23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	51,783		40,429	40,429	40,429	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

08 小学校の適正規模化の推進

■小学校適正規模化推進事業 【事業No.02010801】	担当部課係名	教育部	総務課	ダイヤル	223-7320
			学校規模適正係		

事業概要

- 適正な学校規模を確保し、学校間格差の解消を図り、甲府の子ども達すべてが、等しく学ぶことのできる教育環境の整備充実を図る。

現況と課題

- 総論では概ね市民の理解が得られているものの、各論レベルになると地域間における温度差や未だ慎重論が見受けられる。事業推進に当たっては、地区住民の理解と協力が不可欠であり、適正規模化にかかる機運の醸成が必要。

今後の事業展開

- 国における少人数学級の推進、全国的な学区の自由化傾向、さらには都市計画における用途区域の見直し（市街化調整区域 → 市街化区域）による今後の宅地開発等、時代の移り変わりとともに子ども達を取り巻く環境に変化が見受けられる。今後は、時代の変化を見通す中で、保護者及び地区住民との意見交換を重ね、適正規模化の周知と理解に努めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
計画策定(校)		7	7	7	7	7
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	231		207	207	207	

■きめ細かな教育推進事業 【事業No.02010802←No.02010203】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			教職員係		

2 高等学校教育

施策の基本的考え方

- 甲府商業高校の特色である情報処理に関する研究・教育並びに施設整備の充実を図り、各種資格取得のできる学習の展開を図るとともに、教職員資質の向上にも努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
高等学校教育 02	01 甲府商業高校の充実	01 外国人講師による英語指導事業（高）

01 甲府商業高校の充実

■外国人講師による英語指導事業（高等学校） 【事業No.02020101】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

- グローバルな視野を持つ人材育成のため、外国人英語講師の活用が今まで以上に重要となってきた。「聞く」「話す」を中心とした実践的な指導や「基礎」「基本」の着実な定着、発展的な学習への取り組みの充実を図るうえから、より、積極的な外国人英語講師の活用が必要である。

今後の事業展開

- 実施計画の確実な推進の中で、生徒の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
英語指導を受ける 市立甲府商業高校生 (人)	835	834	840	840	840	2,520
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	5,046		5,182	5,182	5,182	

3 大学教育等

施策の基本的考え方

- 全国でも数少ない、公立の商業実務系専門学校である本校の特色を生かせるよう、学科の充実、開放講座の推進、学校間連携教育の推進、国際交流の推進など学校改革に取り組みます。
- 市内高等教育機関の学部・学科の充実等の要請を行うとともに、就学の支援に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
大学教育等 03	01 甲府商科専門学校の充実	01 外国人講師による英語指導事業（専）
	02 教育内容の充実と就学支援	01 入学準備金融融資事業

01 甲府商科専門学校の充実

■外国人講師による英語指導事業（商科専門学校） 【事業No.02030101】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ガイリン	223-7321
			学務係		

事業概要

- 生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

- グローバルな視野を持つ人材育成のため、外国人英語講師の活用が今まで以上に重要となってきた。「聞く」「話す」を中心とした実践的な指導や「基礎」「基本」の着実な定着、発展的な学習への取り組みの充実を図るうえから、より、積極的な外国人英語講師の活用が必要である。

今後の事業展開

- 実施計画の確実な推進の中で、学生の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
英語指導を受ける 市立商科専門学校生 (人)	97	97	110	110	110	330
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	5,465		5,182	5,182	5,182	

02 教育内容の充実と就学支援

■入学準備金融融資事業 【事業No.02030201】	担当部課係名	教育部	学事課	ガイリン	223-7322
			学事係		

事業概要

- 教育の振興に資することを目的として、大学・大学院及び専修学校の専門課程に入学する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、必要な資金を融資し、もって教育の振興に資することを目的とする。

現況と課題

- 現在の社会情勢（格差の拡大や母子世帯の増加等）を反映し、市民ニーズとしては、依然と高いものがあるが、金融機関が直接融資することから、金融機関の信用調査のハードルが高く、申し込み件数に応じた融資件数の増加が期待するほどない。（平成 19 年度実績 申し込み件数 48 件・融資実行件数 19 件）
また、返済の据置期間の延長も金融機関の了承が得られない。

今後の事業展開

- 所得格差が拡大する社会状況の中、本制度の融資申し込み者数は、融資利率の見直し（引下げ）を行ったことで、増加傾向にある。こうしたことから、事業継続の必要性はあると考えるが、経済的困窮者への融資制度として目的達成度をさらに高めるため、事業内容等の検証を行い、本市の類似事業との統合を含め、より利用しやすい制度となるよう再検討する中で、事業を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
融資件数 (件)	19	15	15	15	15	45
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
	22,273		32,012	41,368	48,288	

4 生涯学習

施策の基本的考え方

- 生涯学習*社会の実現を図るため、「甲府市生涯学習推進構想*」と「生涯学習都市宣言」の精神を基調に、公民館活動の充実、生涯学習の機会の提供などを行い、市民の多様な学習ニーズへの対応に努めます。
- 少子・高齢社会、情報化社会等に対応した生涯学習社会の構築を目指すため、生涯学習推進本部の充実、生涯学習体系の確立、指導者の育成・活用、各種学習団体の育成など生涯学習体制の整備を図ります。
- 生涯学習の拠点として、蔵書資料の充実を図りながら、良質な市民サービスの提供に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生涯学習 04	01 生涯学習の推進	01 生涯学習振興事業
		02 公民館活動事業
	02 生涯学習体制の充実	01 総合市民会館自主事業
		01 蔵書整備事業
	03 図書館の充実	01 蔵書整備事業

01 生涯学習の推進

■生涯学習振興事業 【事業No.02040101】	担当部課係名	教育部	生涯学習課	ガイムン	223-7323
			生涯学習係		

事業概要

- 生涯学習に関する啓発と楽しく明るいまちづくりを目指して学びあう、生涯学習社会の構築を目指す。

現況と課題

- 魅力ある学習メニューを提供するための市民ニーズの把握や、学習情報の提供に努める。

今後の事業展開

- 少子高齢化社会や高度情報化社会に対応するための生涯学習社会の構築が求められている。加えて団塊の世代を対象とする学習環境の整備が必要である。こうした多様なニーズに対応していくため、市民の生涯学習を支援する体制・体系づくりを推進する。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H21～23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
生涯学習フェスティバル延べ参加者数(人)	19,372	15,000	15,000	15,000	15,000	45,000	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	9,072		4,021	4,021	4,021	12,063	

■公民館活動事業 【事業No.02040102】	担当部課係名	教育部	生涯学習課	ガイムン	223-7323
			生涯学習係		

事業概要

- 市民の教養の向上及び健康、社会福祉の増進に寄与することを目的に、各公民館において地域の特色を活かした学習機会の増大や学習の場の提供を行う。
- 多種多様化する学習ニーズに対応した学習機会や学習の場を提供することにより、多くの市民が講座等に参加する中で、生涯学習のきっかけづくりと学習に対する欲求を満ちし、生涯にわたり学ぶ喜びを感じられる事業を実施する。

現況と課題

- 市民からは多様な学習ニーズに応えるための学習内容・機会の充実が求められている。こうした中、公民館の設置目的に即した教育や学術・文化に関する事業等との整合性やバランスが求められている。また、市民自らが生涯学習を実践できるよう、施設の維持管理（耐震問題）面など、環境整備が必要である。

今後の事業展開

- 市民の学習環境をめぐる近況が近年大きく変化している。生涯にわたる学習活動の一層の活発化を図るため、市民一人ひとりの多様な学習ニーズに対応する学習機会や現代社会が直面している様々な課題に関する学習機会の充実、とりわけ団塊の世代を対象とした学習機会の提供が求められている。このような状況の変化を踏まえ、市民の学習活動の場として親しまれてきた公民館は、学習機会を提供する中心的な機関として、今後とも、大きな役割を担っていくことが期待されており、それに応じていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H21～23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
主催事業参加者数 (人)	10,833	12,000	12,000	12,000	12,000	36,000	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	119,495		114,884	114,884	114,884	344,652	

02 生涯学習体制の充実

■総合市民会館自主事業 【事業No.02040201】	担当部課係名	教育部	生涯学習課	ダイヤル	223-7323
			生涯学習係		

事業概要

- 文化振興の拠点また文化の発信基地として、より市民の芸術文化活動の推進及び生涯学習に対する市民意識の醸成を図ることを目的とする。

現況と課題

- 市民の多様なニーズを把握すること。

今後の事業展開

- 本市の文化芸術の向上、スポーツや産業の振興等を図り、市民の福祉の増進に寄与するための、生涯学習の拠点施設として市民になくてはならない施設として今後も管理運営していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
自主事業の延べ観客数 (人)	2,597	5,000	5,000	5,000	5,000	15,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	1,609		1,675	1,675	1,675	

03 図書館の充実

■蔵書整備事業 【事業No.02040301】	担当部課係名	教育部	図書館	(外線)	235-1427
			管理係		

事業概要

- 一般公衆の利用に供し、その文化・教養・調査研究・趣味・娯楽等に資する資料を収集、整理、保存する。ニーズの高い、また資料価値のある資料の収集保存を行い、利用者の拡充と利用頻度を高めることを目指している。

現況と課題

- 利用者のニーズに応えたものや資料的価値の高いものの収集、また館としての独自性や特色を打出すための資料収集が課題である。

今後の事業展開

- 一般公衆の利用に供し、その文化・教養・調査研究・趣味・娯楽等に資する資料の収集のための資料費を、類似都市の公立図書館資料費や日本図書館協会が策定した資料費基準などに基づき、拡大する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
資料貸出数 (点)	645,706	646,600	647,200	647,800	648,400	1,943,400
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	22,000		22,000	22,000	22,000	

5 スポーツ・レクリエーション

施策の基本的考え方

- だれもが・いつでも・身近にスポーツに親しみ、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で活力に満ちた社会の実現を目指すため、指導者の育成・確保に努めながらニュースポーツ*の普及等の機会や情報の提供にも努めます。
- 市民スポーツの活動拠点として良好な環境を提供するため、各施設の機能整備に努めます。また、身近な運動施設として学校体育施設についても積極的に社会開放し、施設の効率的な活用を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
スポーツ・レクリエーション 05	01 生涯スポーツの推進	01 学校開放管理事業
	02 施設の整備	01 各種スポーツ施設管理事業

01 生涯スポーツの推進

■学校開放管理事業 【事業No.02050101】	担当部課係名	教育部	スポーツ振興課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ振興係		

事業概要

- 一般市民が身近に利用できるスポーツ活動の拠点として、市立の学校体育施設を学校教育に支障のない限り開放し、市民の健康増進とスポーツの定着化を図る。

現況と課題

- 各開放校における、社会体育施設の老朽化に伴う整備・改修等への対応。

今後の事業展開

- 地域住民がスポーツ活動を行うにあたり、身近な施設として学校体育施設の果たす役割は大きく、施設の改修計画に基づき年次的な整備を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
施設利用件数の増加率(%) (当年延べ利用件数/前年度延べ利用件数)	△9.99	7.81	7.81	7.81	7.81	7.81
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	33,080		30,912	30,552	57,232	

02 施設の整備

■各種スポーツ施設管理事業 【事業No.02050201】	担当部課係名	教育部	スポーツ振興課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ振興係		

事業概要

- スポーツ施設の整備を行うことにより、スポーツレベルの向上及び健康・体力の維持増進や豊かなコミュニティづくりを図り、市民の間に生涯スポーツを普及する。

現況と課題

- 都市基幹公園（運動公園）としての緑が丘スポーツ公園の整備及び各施設の老朽化への対応。

今後の事業展開

- 高齢化社会及び生活の利便性迫及による運動不足の日常化等の中で、スポーツによる健康維持管理増進意識は高まりつつある。これに応えるため、社会体育施設の整備を積極的に進める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H21～23)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
施設利用件数の増加率(%) (当年延べ利用件数/前年度延べ利用件数)	15.79	15.79	15.79	15.79	15.79	15.79
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	70,618		69,236	69,236	88,336	

6 文化・芸術

施策の基本的考え方

- 文化・芸術活動の振興を図るため、情報ネットワークを活用しながら、市民が優れた文化・芸術に接する機会の提供や創作活動の場の拡充に努めます。
- 本市に存在する指定*及び登録文化財*の保護・保存と啓発・普及に努めるとともに、未指定文化財についても調査・研究を行います。また、史跡公園の計画的な整備等を行い、文化財の保存・活用を図ります。
- 個性的なまちづくりや心の豊かさを取り戻す人づくり資源として、伝統文化や歴史景観の保存・再生に積極的に取り組みます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
文化・芸術 06	01 文化・芸術活動の振興	01 文化振興基金事業
	02 文化財の保護と活用	01 史跡武田氏館跡整備事業

01 文化・芸術活動の振興

■文化振興基金事業 【事業No.02060101】	担当部課係名	教育部	文化振興課	ダイヤル	223-7324
			文化芸術係		

事業概要

- 市民に良質な芸術を提供することにより文化芸術の普及と振興を図り、市民個々の豊かな創造性や人間性の形成に資する。

現況と課題

- 現在の経済情勢下では、金利が回復する見込みが見られないので運用益内での事業展開は困難となっている。

今後の事業展開

- 市民の文化的意識を高め、情緒ある日常生活を過ごしてもらうために、市民参加型の芸術性豊かな質の高い内容を提供していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
事業参加者数 (人)	26,500	29,017	27,000	27,000	27,000	81,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	27,714		23,196	23,196	23,196	

02 文化財の保護と活用

■史跡武田氏館跡整備事業 【事業No.02060201】	担当部課係名	教育部	文化振興課	ダイヤル	223-7324
			文化財係		

事業概要

- 戦国大名居館と城下町の遺構が良好な状態で残っている武田氏館跡とその周辺一帯を開発から守り、生きた歴史に触れ、遺跡を含む自然環境の中で学べる野外の博物館とする。また学校教育や生涯学習の場として、さらには散策憩いの場として大いに活用出来る史跡公園として整備する。

現況と課題

- 整備をするにあたって公有地化を随時進めているが、公有地化においては土地所有者の理解と協力が必要であるため、計画的な買収が困難な状況である。また、館の中心部分は武田神社の宗教的施設となっているため、武田神社と館跡の整備の調和を図ることが課題である。

今後の事業展開

- 甲府市の原点である武田氏館跡の整備を推進し、甲府市は言うに及ばず山梨県を代表する歴史遺産の積極的な活用を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H21～23)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
史跡整備面積 (㎡)	3,500	1,200	2,000	3,000	3,000	8,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	140,986		117,957	117,957	117,957	

7 青少年

施策の基本的考え方

- 青少年の健全な育成を図るため、有害環境浄化活動*の推進、総合育成体制の整備、家庭環境の重要性の啓発などに努めます。
- 青少年施設の整備と活用を図りながら、青少年ジュニアリーダー*の育成や子どもクラブ*など少年団体の活動を促進し、自主性の高揚と社会的認識の向上を図ります。
- 青少年の健全な育成を図るため、青少年非行防止活動の推進、**青少年育成センター**の充実・強化を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
青少年 07	01 生活環境の浄化	
	02 自主的活動の推進	
	03 保護体制の強化	

8 男女共同参画

施策の基本的考え方

- 「甲府市男女共同参画推進条例」を基調に「甲府市男女共同参画センター」を活用しながら、女性団体間の交流促進などを行います。また「女性総合相談室*」の相談業務の充実を図り、より一層の男女共同参画の推進に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
男女共同参画 08	01 こうふ男女共同参画プランの推進	01 男女共同参画推進事業

01 こうふ男女共同参画プランの推進

■男女共同参画推進事業（特別職給与を含む） 【事業No.02080101】	担当部課係名	市民生活部	男女共同参画課	ダイヤル	237-5209
			男女共同参画係		

事業概要

- 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって職場、学校、地域、家庭、その他のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担う生き生きとした、豊で活力ある「男女共同参画社会」を実現する。

現況と課題

- 男女共同参画社会づくりを地域等に定着させるために、市民と行政が連携して男女共同参画施策を、具体的に推進できるシステムづくりが必要である。

今後の事業展開

- 男女共同参画社会実現に向け、「甲府市男女共同参画推進条例」に基づき、「第2次こうふ男女共同参画プラン*」を継続推進する。平成20年度に設立した「甲府市男女共同参画推進委員会」の事業を強力に推進する。

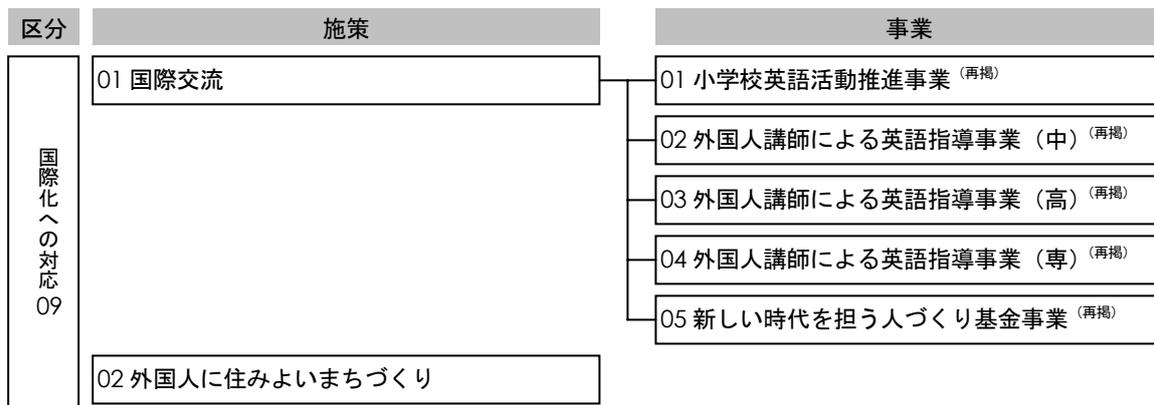
成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H21～23)
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
「第2次こうふ男女共同参画プラン」推進関連事業数	84	84	80	80	80				240
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H21～23)			
	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	10,423		7,894	7,894	7,894	23,682			

9 国際化への対応

施策の基本的考え方

- 姉妹友好都市のみならず、姉妹友好都市以外の都市などとも、21世紀の国際化時代に対応した新たな友好交流を推進します。
- 外国人に住みよいまちづくりを行うため、生活情報の提供、相談業務の充実、庁内体制の充実、地域活動の推進などに努めます。

施策・事業の体系



01 国際交流

■小学校英語活動推進事業 【事業No.02090101←No.02010201】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（中学校） 【事業No.02090102←No.02010202】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（高等学校） 【事業No.02090103←No.02020101】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（商科専門学校） 【事業No.02090104←No.02030101】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■新しい時代を担う人づくり基金事業 【事業No.02090105←No.02010301】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321